

竹村ほまれ 後援会だより

2017/08/03 No.025

後援会責任者 林高文 83-0341

竹村ほまれ連絡先 自宅/FAX: 83-1090

携帯 : 090-6545-2254

ブログ・FB: **竹村ほまれ** と入力し検索を

地方が明るく未来へ

田舎暮らしをしたくても病院も学校もスーパーもバスも無い、公共施設すら無くなってしまう。この地で希望をもつて生活し、ましてや移り住もうとしよう若者は定着してくれませぬ。

地方が大事にされなければならぬ時代と言われ、地方創生が形ばかり進められています。が、実態は、一握りの富裕層や大企業のための政治が安倍政権により強引に進められています。

それにより社会保障全般の切り捨てや、相変わらず大都市集中が加速し、地方の広域化や施設統合集約が進行し、周辺地域が衰退する現象に現れていきます。

庶民の暮らしが守られる社会変革が実現してこそ、地域の活性化も地方創生も実を結び、日本の明るい未来が開けます。



議会準備や通信の発行に頑張っています

6月議会ほまれの一般質問

- ① Aコープ中沢店の閉店への対応は
- ② 教育現場の過剰勤務の実態と改善は

☆Aコープ中沢店

閉店の見解は

質問

Aコープ中沢店の拙速な閉店は住民生活に支障を与えている。中沢唯一の生活店舗に依存する高齢者世帯等にとっては無くてはならない店舗であり、撤退する前に何らかの行政も交えた対応が図られるべきだったと考えますが、市の見解は。

憂慮する事態となった

市長

市へもJAから事前に何ら協議等は無かった訳で、非常に残念であり憂慮する事態になったと思っております。

☆業者への対応は

質問

JA上伊那は、長く組合員を中心に地元で愛され、住民から金融や共済、農業資材等で利益を得て、他の民間とは違う深い絆を築いてきたのに、これが代償かというのが住民感情だ。業者への指導と今後の対応をどのようにお考えですか。

経緯を確認し協議する

市長

6月中に改めてJAに経緯の確認をさせて頂き、それを受けてJA及び地元を含めて最善の対策が図れるように真摯に協議を進めていきたい。

☆行政としての対応は

質問

高齢世帯など生活弱者買い物弱者への喫緊の対応が求められる。行政としても何らかの生活維持支援やJA上伊那と話し合いを持ち、店舗継続を前提に赤字補てん等・施策を図ることは出来ないか。

実態把握をして影響が最小限の方法を探る

市長

市として実態把握に努めており情報が纏まり次第早急に地元と協議を行い出店の可能性や移動購買者、或いは宅配サービスなどの活用により買い物弱者への影響が最小限に留まるような方法を探っております。

☆地域の拠点を

守り守っていくか

質問

地区で唯一の食料品資材を扱う店舗の撤退は、中沢区に限らず、過疎化に拍車をかける深刻な要因だ。地域の拠点をどの様に捉えて守っていく考えか。

地域と行政が汗をかく

市長

当市も総合的に考えているが、行政のみで進めることは難しい。地域の皆さんと行政もいっしょに汗をかく中で、何が必要かを決めていく事が最善と思っております。

②教員の過剰勤務の実態と改善は

質問 学校教員は給特法により、時間外勤務は適用されない等、教員の超過勤務が把握されにくい実態がある。現場では月80時間に及んだり、部活をもちこいる教員は100時間を超えるという声も聞かれる。

学校では超過勤務の実態を調査しているのか。

※給特法＝教育職員の給与等に関する特別措置法。授業以外の事務処理や部活動等の課外活動は残業代としてみなされる。

少なくない数字だと認識する

教育長 学校でも、市教育委員会においても学校毎の勤務状況を捉えている。平成27年5月に58時間04分平均(等)改善は進んできてはいるが少なくない数字だと認識している。

☆行き過ぎへの対応は

質問 文科省が教師を対象に勤務時間の調査を行っているが、中学校の教師の57%が過労死の目安とされる月80時間を超える時間外労働をしている。行き過ぎた超過勤務への対応や指導は的確に行っているか。

学校支援体制構築する

教育長 勤務の多い職員への個別指導、市費で教職員の配置、部活動に係る基準をつくり休養日を設け稼働時間を制限。又、市教委の事務局の中に指導主事や相談員を置き学校支援体制を構築している。

☆指導・課題は適切か

質問 市町村や教育委員会から様々な課題が学校側に持ち込まれて、教員や学校の負担が大きいと聞けが、学校への指導や課題の投げかけは適切に行われているのか。

一方的な押し付けしない

教育長 学校に一方的に押し付けるのではなく、学校と一緒に考え取り組んでいくという方針をとっている。

☆教員の犯罪等原因は

質問 教職員による犯罪や自殺も社会問題にもなっている。超過勤務等により教員が抱えるストレスや心の余裕を持ってないことも、その要因ではないかと考えるが、原因をどの様に捉えているか。

要因の1つと考える

教育長 ストレスの1つの要因となれば関係していると思う。労働安全衛生法に基づくとストレスチェックを全職員対象に実施しておりメンタルヘルス不調の未然防止に努めている。

☆加配の配置は適切か

質問 特別支援学級の加配等、先生の配置が少ないとの意見も聞けが、適切に配置されているのか。

支援員22人を市費で

教育長 県教委の教員配置は適切に行われている。市独自の施策としては特別支援教育の支援員22人を市費で行っている。

イタ千君 こんにちは

僕、昔交通事故に遭い、今の主人様がはく製にしてくれました。可愛いです、もうすぐ産む方探しています。



入学前の就学援助の支給が実現しました

3月議会の一般質問にてほまれ議員が求めていた、小中学生の入学前の就学援助金の支給が実現されることになりました。

この6月議会に補正予算がつき、平成30年より入学前3月までに支給されます。

これは経済的理由によって、就学困難な児童及び生徒が入学準備に当たり、必要とする家庭に必要な時に支給される様、入学前の2月や3月に支給出来ないか求めていたものです。

